

墨田区基本構想審議会委員より寄せられた、
区の好きなおところ、強みだと思う点（64件）

伝統・歴史、文化芸術

（伝統・歴史）

- ・本物が生きる街
地域のお祭りや盆踊り、伝統工芸や銘品名店、相撲文化や花街文化、多くの下町江戸文化が生きている日常を、保護・保全ではなく、本物として毎日の生活の中で感じることができる。
- ・江戸時代以来の文化・伝統が息づいており、墨田区の顔ともなっていること。
- ・名所、名跡、案内、著名人の跡地、関東大震災、東京大空襲などの案内、墨田区は頑張っていると思います。これをもっともっと掘り出し点から線にして、昔と現在が一緒に感じられるようにしてもらいたい。
- ・歴史ある文化や施設と新しい文化や産業が調和していること。
相撲や花火など古くから続く文化と回向院や安田庭園などの歴史ある施設があります。
一方で、スカイツリーをはじめとする商業施設やアストロスケール社など新しい産業もあります。調和があり魅力を感じています。
- ・国技館、江戸博、スカイツリーのような大きな名所の他に、「すみだ小さな博物館」等伝統工芸を大切にし、それを地域に開いて体験できるような場があること。
- ・江戸・下町文化を中心に非常に多くのコンテンツに恵まれている。北斎・相撲・川・桜・花火・料亭街・歓楽街・スカイツリー・町工場・勝海舟・忠臣蔵・芥川龍之介・華屋与兵衛・王貞治など。
- ・歴史を感じられる場所が多い。

（文化芸術）

- ・墨田区音楽都市構想の実現に向けた取組み。東京の東の副都心である錦糸町の立地に、フランチオーケストラのあるすみだトリフォニーホールが文化芸術振興の拠点としてあり、このホールを核にして誰もが音楽を身近に感じられるよう様々な事業展開をするとともに、地域活性化につなげていること。
- ・すみだ北斎美術館において、世界に誇る葛飾北斎の魅力を伝える多種多様な事業企画を実施し、区内外に情報発信するとともに、地域活性化につなげていること。令和5年度では、年間約15万9千人の入館者を記録しており、多くの人を集められる公共施設であること。
- ・すみだトリフォニーホールやすみだ北斎美術館以外にも、両国国技館、江戸東京博物館、刀剣博物館、とうきょうスカイツリー、隅田川花火大会、墨堤の桜など数多くの文化観光資源があり、墨田区の有する魅力的な文化に触れあう環境があること。
- ・どの世代も墨田区を楽しめる。両国国技館や東京スカイツリー、飲食店、雑貨店、街並みなど、他の地域に住む人も惹きつける。伝統工芸も魅力がある。また、プールや児童館のような地元の人が使う施設も充実している。今後も楽しませてくれる期待感あり。

産業、商業、観光

(産業・商業)

- ・ Old meets New

老舗店舗や 100 年企業が多く存在し、代々住み続ける住民がいる一方で、新たに移り住む人や、移転したり創業で新たに仲間になる事業者も多く、新旧が融和して共栄できる環境にある。

- ・ 区内企業には業歴の長い老舗企業も多い。そうした会社では 2 代目 3 代目の若手経営者が新たな事業展開を目指して、クリエイティブな活動をしている。そうした企業から生まれてくる墨田の新しい製品や事業には目を見張るものがある。
- ・ 商業としての観点はともかく、区の面積に対してかなりの大型商業施設があり、それにより近隣含め多くの人が訪れるようになっている。
- ・ 商業施設が多い。

(観光)

- ・ 東京スカイツリーや江戸東京博物館、両国国技館など、全国的に有名な観光スポットが多くあること。
- ・ 名所が多い（スカイツリー・隅田川など）。

健康・福祉

(健康・医療)

- ・ 医療・保健・福祉・介護などの多職種間の連携ができています。
- ・ 医療アクセスがよい。病院、クリニックともに十分な施設数があり、質も高いと感じる。子どもの予防接種やコロナワクチン接種もスムーズにできた。医療機関同士の連携もしっかりしている印象があり、区の医療インフラが充実している。
- ・ 墨東病院、同愛記念病院、賛育会病院などの他に、中堅病院、地元のクリニック等の医療機関があり、コロナ禍でも機能していたこと。
- ・ 医療や子供に関する領域で、緊急度の高い課題について、対応が早い。

(コロナのワクチン、保育園不足など)

- ・ 病院が多い。
- ・ 特定健康診査、75 歳以上の健康診査、若手区民健康診査について充実していると思う。

(高齢者)

- ・ 墨老連等の老人に対する対策が充実していると思う。
- ・ 高齢者のためのスマートフォン教室も充実していると思う。

教育

- ・ 児童・生徒の学力向上、学習意欲向上に力を注いでいること（墨田区だけでなく日本の将来を見据えても大切なことと思います）。

地域・つながり

(つながり・ひと)

- ・人が繋がり夢を語れる風土
日常生活や事業活動の垣根を越えて、繋がりを持てる機会を創出しながら、夢を語り共有できる風土を地域も行政も作り続けている。
- ・はっきり声に出して挨拶するところ。
- ・“おせっかい”と言いながら、そんなに親しくない人にも手を貸すところ
- ・人口の規模と、地理的な規模が丁度良い。人と人のつながりが起こりやすい丁度良い規模である。町会単位の祭りやコミュニティなど下町ならではの交流が残っている。
- ・人情味にあふれているところ。
- ・隣近所が仲が良いところ。
- ・おせっかいなところ。
- ・良い意味でも、悪い意味でも狭いネットワークで顔が見える地域である。
良い意味では、行政、各団体との横のネットワークが築かれ、風通しが良い地域であること。
悪い意味では、情報が意外と早く筒抜けになり、忖度する傾向にある。
- ・墨田区生まれだとわかると、「あなたは何小（小学校）出身？」と聞く。墨田区生まれ、墨田区在住者だけでなく、U ターンで戻ってくる住民も多く、気心が知れた付き合いができる人が多い。よそ者でも懐に入れれば、気さくに仲間に入れてくれる下町の良さが残っている街。
- ・自分の住んでいる所に昔の云われがある所があり、それを知るということは、その地域が自分にとって第二の故郷になり、地域愛になっていく。そして、「住んでいて良かった」となっていくものです。この意識が町会や老人会、地域意識に必ずつながっていくのだと感じています。
墨田区の“人”のマークもそれを意識しているのではないのでしょうか。
- ・下町情緒が残っていて、地域の人々の繋がりができている。
- ・昔ながらの下町気質で、良い意味でのおせっかいができるところ。
共助の精神があるところ。
- ・人が繋がりやすい面積（区の面積が広すぎるとどうしても各地域事であつまりやすくなり、区内全体では繋がりにくい）。
- ・下町らしい地域のコミュニケーションがなんとか残っているところ。
(逆にどう残していくかが課題かもしれません)

(地域活動・イベント)

- ・こどもわくわくフェスティバル開催のように、墨田区が新しいことに挑戦している。墨田区をよくしたいと意欲的に活動する人が多く、ますます発展しそうな期待感を持つ。自分が墨田区のために区民として何ができるかを考えさせられる。これからも先進的な取り組みを率先して実施してほしい。
- ・市民の活動がとても盛んで活気がある。「すみだ向島 EXPO」「すみだストリートジャズフェスティバル」のような大きなイベントが市民の手で行われていたり、多くの団体が活動していたりする。子どもの分野においても、墨田区の団体が中心に日本放課後学会が生まれ、ハロカルといった取り組みが始まるなど、今後、全国的にも注目されるエリアになると思われる。

- ・地域コミュニティの数やイベントが、他の地域に比べて多い。
- ・お祭りが多い。
- ・古くからある“しきたり”などは薄れてきたが、自分のまちを愛し、清掃、防犯、防災、防火などに高齢者も含めて若い人達も一緒になり取り組んでいる。

まちなみ・交通

(まちなみ・景観)

- ・混在（住宅、商店、町工場など）していることが町の活力を生み出している。
（かつての都市計画の理論からすれば、用途地域が明確でなく、整備されていない、遅れた地域という位置付けであったが、逆に、ここは住宅地、ここは商業地などと切り分けられていないことから活力が生まれている。）
- ・コンパクトにまとまっているところ。色々な場所の距離が近いので、居住者にとって施設利用の際の利便性が高い。密集していることは、郊外に比べ整備する量が少なく済むのでインフラ整備の点でも効率的である。
- ・気負わずに過ごせる街の雰囲気と暮らしやすさ。
- ・まちに多様性がある。スカイツリーと昔ながらの長屋が1つのフレームに収まる風景もユニークだし、住んでいる人たちもユニーク。特に京島界限は、EXPO で訪れたアーティストが住み着き、活動したりお店をつくったりしており、外から来た人たちと地域の人たちが混ざり合っている。他の地域では生きづらかった人たちが、すみだで居場所を見つけて移り住んでくるともよくある。
- ・商業地もあり、観光地もあり、治安も良く、適度な住民同士の関わりがあり、楽しく住みやすい。まち歩きなどをしても飽きることなく、度々新しい発見もある。
- ・隅田公園や錦糸公園にイベントがある日、ない日に関わらず人が集まっていること。イベントがある日は、老若男女、ときには国籍関係なく多くの人が集まり、交流している。イベントがない日でも、家族やカップル、グループが団らんしている。
- ・急速に発展し、便利の反面、下町の風情が感じられる地域がある。

(交通・都市機能)

- ・都心に近い為、居住者にとって通勤しやすい。事業者にとってはビジネスのチャンスが多い。最近、特に観光客の滞在が増えているのではないかと感じる、実際のデータを確認し、強みだとすれば、その方面の施策を強化することができる。
- ・交通アクセスの良さ。
- ・機能がコンパクトにまとまっている。あまり広くない範囲に行政、商業、学習、文化などの施設があり、自転車で10～15分の移動で行き来できる。特に中心部の押上辺りにいると、どこに行くのも近くて生活が楽。錦糸町というほど良い大きさの繁華街があり、映画館などがあるのも嬉しい。
- ・都市開発的には、錦糸町・両国地域、押上・曳舟地域を二本柱に交通網も整備され、都市型開発とし確立しつつあるので、ある意味住みやすい便利な都市地域となりつつある。

- ・商業施設と公共交通の利便性が高いこと押上、錦糸町を利用すると欲しいものが大体揃えることができ、他の都市へ移動しやすくとても便利に感じます。
- ・家賃相場に対する都心アクセスの良さ。
- ・交通の利便性
公共交通機関が発達しており、どこにでも出かけやすい。
(区内移動については課題があると思われる。)
- ・平坦な土地で移動しやすい。

区政

- ・行政サービスの対応の迅速さ。
- ・首長である区長が可能な限り、あらゆる団体の行事やイベントに出席され、住民と触れ合うことで行政の政策や方針が広く浸透してきている。
- ・スカイツリーができて、墨田区の認知度が上がったこと。

その他

- ・暮らしやすい。

※アンケートの原文ママで意見を掲載しています。